

第2章

北九州市の高齢者を取り巻く状況

1 データから見る北九州市の高齢者の状況

(1) 高齢化率の上昇

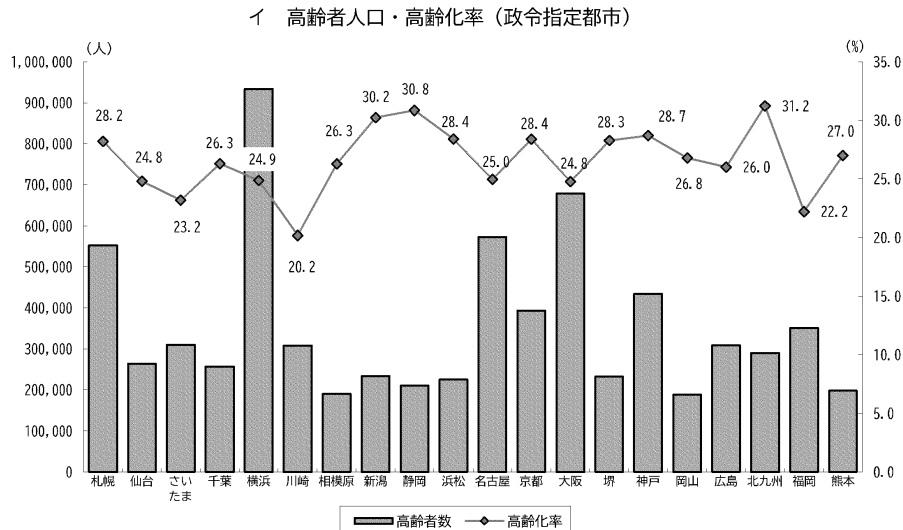
高齢化率:政令市1位!
人口の約3人に1人が高齢者

高齢者数ピークは2025年
85歳以上は2040年まで増加予測

この20年間で単身高齢世帯が1.7倍に増加

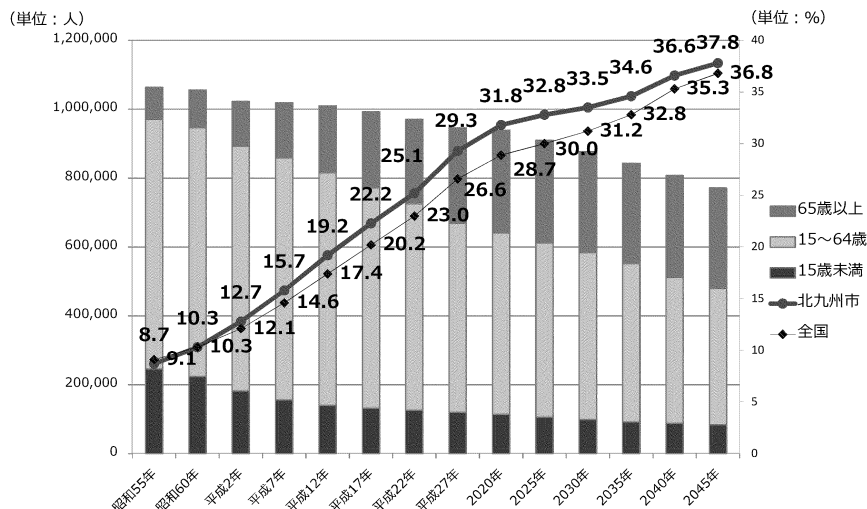
- 本市の高齢化率（総人口に占める65歳以上の人口割合）は、平成2（1990）年に全国を上回り、その後も一貫して全国よりも高い水準で推移し、令和5（2023）年には人口の約3人に1人が高齢者となっています。
- 65歳以上の高齢者に占める75歳以上高齢者の割合は、令和2（2020）年国勢調査では52.6%と5割を超え、85歳以上は令和17年（2040）年まで増加が見込まれています。
- 高齢者単身世帯数は、平成12（2000）年から令和2（2020）年で1.7倍まで増加しています。

【図表○ 高齢者人口・高齢化率 政令市比較】



【出所】総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（令和4年1月1日現在）」

【図表○ 本市の人口及び高齢化率の推移】



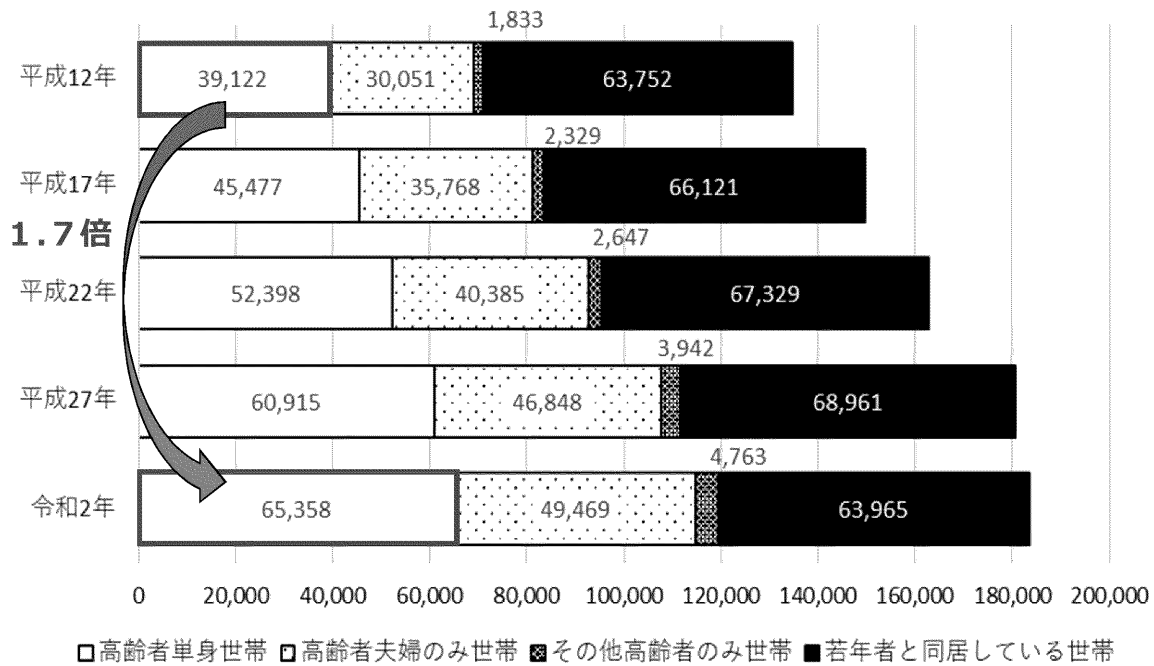
【出所】2020年までは国勢調査（総務省）、2025年以降は、国立社会保障・人口問題研究所 本市：「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」、全国：日本の将来推計人口（平成29年推計）「出生中位（死亡中位）推計（平成29年推計）」

【図表〇 本市の人口及び高齢化率の推移】

	H27年 (2015)	R2年 (2020)	R7年 (2025)	R12年 (2030)	R17年 (2035)	R22年 (2040)
総人口	961,286	939,029	909,840	877,426	842,929	807,022
0～14歳	120,140	109,590	105,911	98,838	92,741	88,585
15～64歳	559,099	503,800	505,394	484,301	458,566	422,797
65～74歳	143,646	135,650	118,322	106,874	109,738	120,924
75歳以上	138,401	150,527	180,213	187,413	181,884	174,716
75-84	96,653	99,504	119,342	118,478	99,342	90,850
85以上	41,748	51,023	60,871	68,935	82,542	83,866
65歳以上	282,047	286,177	298,535	294,287	291,622	295,640
高齢化率	29.3%	31.8%	32.8%	33.5%	34.6%	36.6%

出典：国勢調査(総務省)／国立社会保障・人口問題研究所

【図表〇高齢者のいる世帯の推移】



【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(2) 生産年齢人口の減少

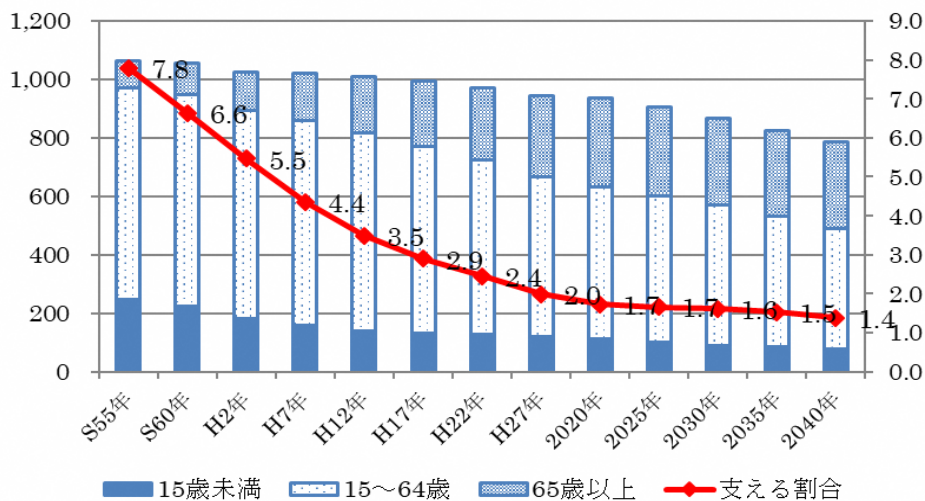
ますます減少が予測される労働人口

- 総人口は、昭和 57 (1982) 年頃までは社会動態の減少分を自然動態で補うことで維持していましたが、近年では、大学等を卒業した若年者や、転職期とされる 30 代での転出超過といった社会動態の減少分を自然動態で補うことが難しくなり、人口減少が続いています。
- 年少人口 (0~14 歳) や生産年齢人口 (15~64 歳) は、今後も減少を続けると推計されています。高齢者 (65 歳以上) 1 人に対し、現役世代 (15~64 歳) は、昭和 55 (1980) 年の 7.8 人が、令和 2 (2020) 年には 2.0 人となっています。今後も現役世代の割合は低下を続け、令和 22(2040)年には、高齢者 1 人に対し、現役世代が 1.4 人になると見込まれています。

【図表○ 65 歳以上人口を 15~64 歳人口で支える割合】

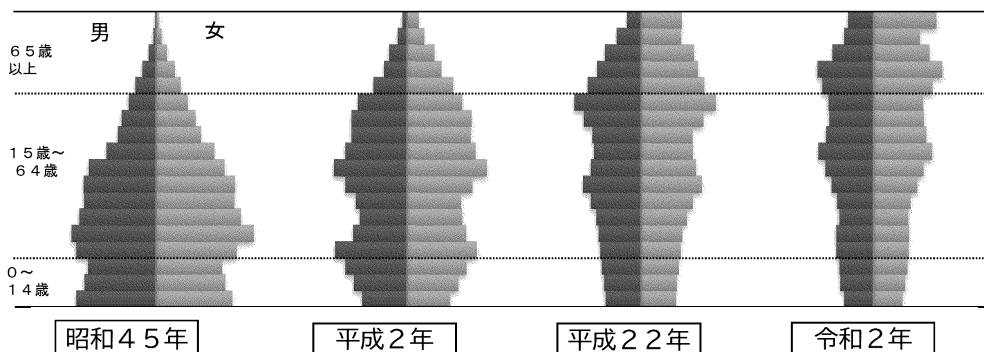
(単位：千人)

(単位：人)



【図表○ 人口ピラミッド】

北九州市



【出所】総務省「国勢調査」(各年10月1日現在)

(3) 平均寿命と健康寿命

平均寿命・健康寿命ともに延伸傾向

- 本市の平均寿命は、昭和 40（1965）年以降、一貫して延伸しています。
- 平均寿命と健康寿命の差の日常生活に制限のある「不健康な期間」については、平成 22(2010)年から令和元(2019)年までの 9 年間で、男性が 10.39 年から 8.50 年と 1.89 年、女性が 14.00 年から 11.43 年と 2.57 年短縮しています。
- 平均寿命・健康寿命ともに、女性が男性を上回っています。

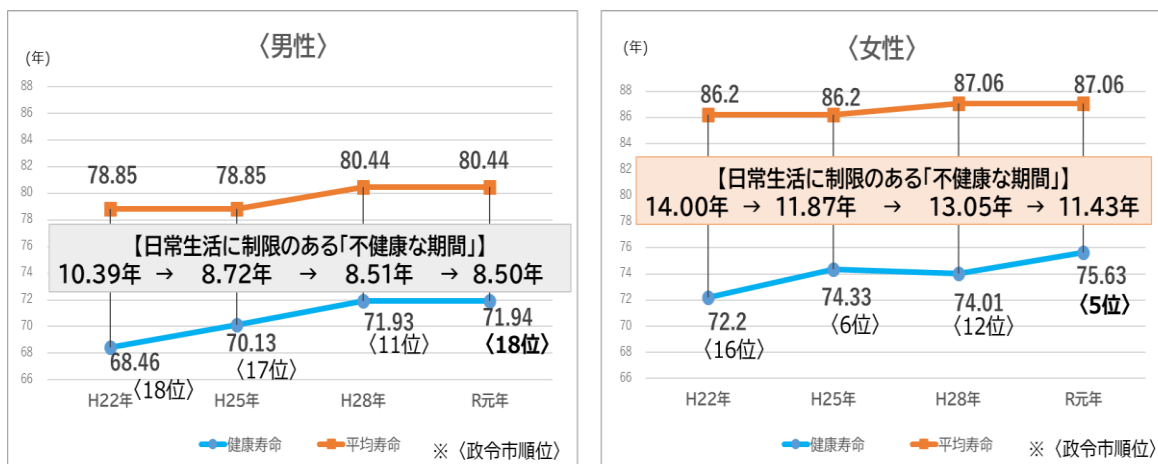
【図表○ 平均寿命（0 歳の平均余命）】

(単位：年)

年次	北九州市		全国	
	男性	女性	男性	女性
昭和 60 年 (1985)	73.94	80.66	74.95	80.75
平成 2 年 (1990)	74.73	81.91	76.04	82.07
平成 7 年 (1995)	75.82	83.04	76.70	83.22
平成 12 年 (2000)	77.00	84.21	77.71	84.62
平成 17 年 (2005)	77.81	85.55	78.79	85.75
平成 22 年 (2010)	78.85	86.20	79.59	86.35
平成 27 年 (2015)	80.44	87.06	80.77	87.01
令和 2 年 (2020)	81.01	87.69	81.49	87.60

【出典】厚生労働省「令和 2 年都道府県別生命表の概況」

【図表○ 不健康な期間（平均寿命と健康寿命の差）の推移】



【出所】平均寿命：平成 27 年完全生命表(厚生労働省)
健康寿命：厚生労働科学研究「健康寿命及び地域格差の要因分析と健康増進対策の効果検証に関する研究」

(4) 社会保障給付費の状況

給付費は増加傾向

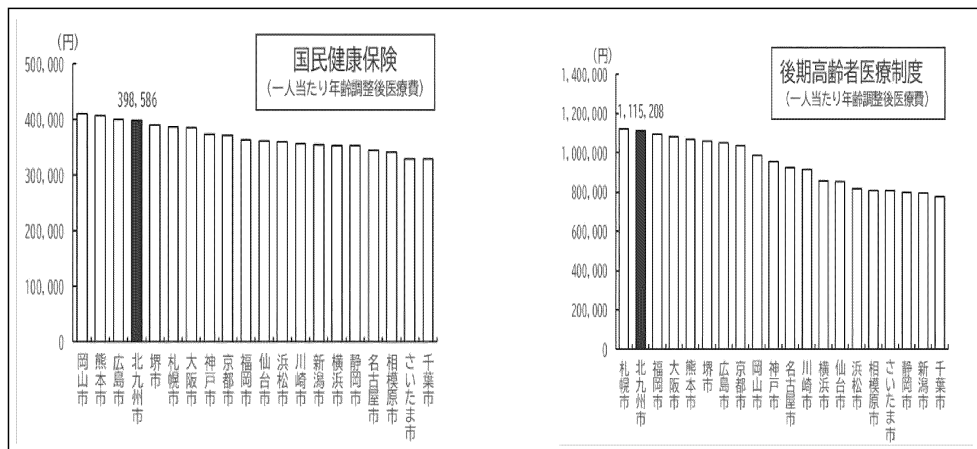
- 北九州市の介護給付費と介護保険料は、介護保険制度が開始した平成12(2011)年度から増加し続けています。
- 医療費も全国平均を上回り、政令市中では、北九州市国民健康保険制度の被保険者一人あたりは4番目に高く、後期高齢者医療制度の被保険者一人あたりは2番目に高い状況です。
- 高血圧や糖尿病、脂質異常症等の生活習慣病予防等を目的とした、北九州市国民健康保険特定健診の受診率は、令和3年度34.2%(政令市中4位)、また、健診後に生活習慣の改善を目的に実施する特定保健指導の実施率は19.9%(政令市中6位)でした。

【表○ 北九州市の介護給付費と介護保険料の推移】

計画期間	介護給付費・地域支援事業費		保険料額 (基準額)
第一期	12年度	343	3,150円
	13年度	427	
	14年度	483	
第二期	15年度	523	3,750円
	16年度	569	
	17年度	581	
第三期	18年度	564	4,750円
	19年度	582	
	20年度	599	
第四期	21年度	644	4,450円
	22年度	676	
	23年度	692	
第五期	24年度	722	5,270円
	25年度	757	
	26年度	790	
第六期	27年度	813	5,700円
	28年度	834	
	29年度	847	
第七期	30年度	868	6,090円
	R元年度	900	
	R2年度	906	
第八期	R3年度	963 (計画値)	6,540円
	R4年度	986 (計画値)	
	R5年度	1003 (計画値)	

【出典】北九州市

【表○ 人あたりの年齢調整後医療費(令和2年度)】



【出典】医療費の地域差分析(厚生労働省)

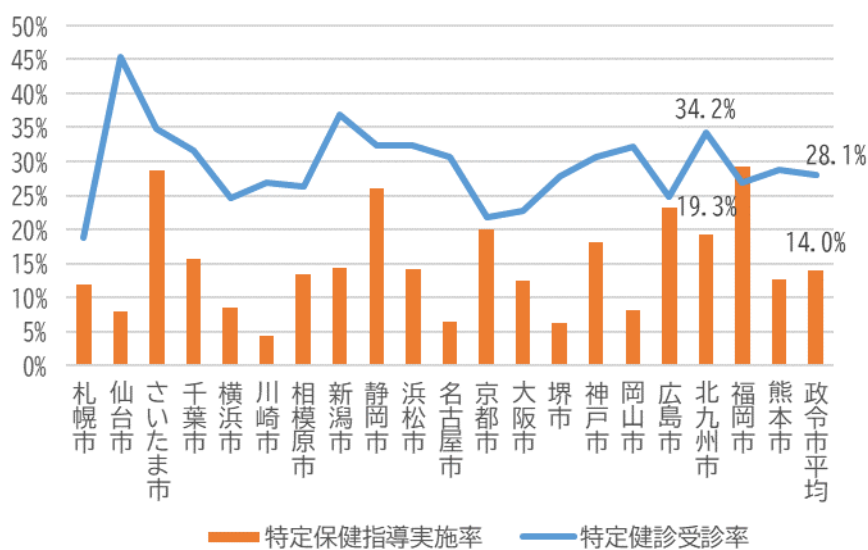
【図表〇 医療費割合（入院・外来）上位3位（令和4年度）】

入院		割合
1	骨折	8.6%
2	脳梗塞	5.2%
3	関節疾患	4.2%
外来		割合
1	慢性腎臓病(透析あり)	9.1%
2	糖尿病	7.2%
3	高血圧症	6.1%

【出典】北九州市(KDB)

【図表〇 特定健診・特定保健指導実施状況（令和3年度）】

(単位：%)



【出典】北九州市

※ 特定健診の受診率：受診者数／国民健康保険被保険者数（40～74歳）
 特定保健指導実施率：実施者数／特定保健指導対象者数（40～74歳）

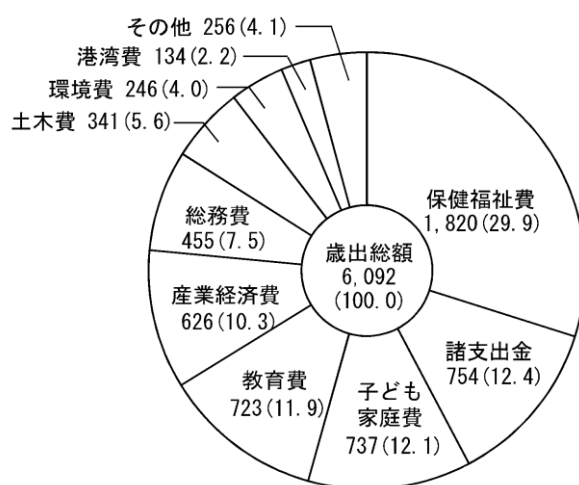
(5) 本市の財政状況

保健福祉費は増加傾向

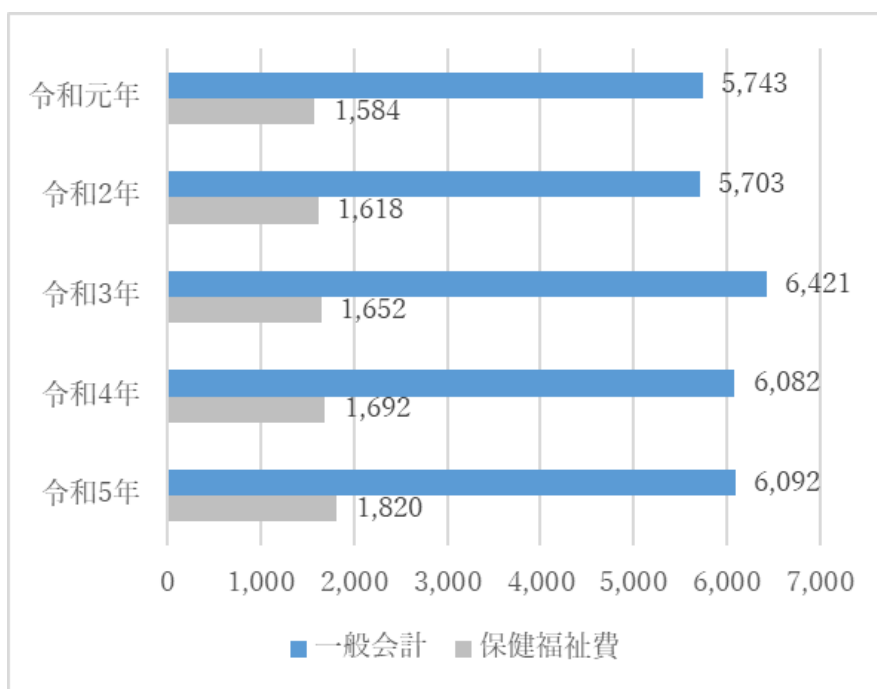
○本市の保健福祉費は一般会計予算の4分の1を超える水準にあり、保健福祉費、特別会計(介護保険)ともに増加傾向にあります。

【図表○ 令和5(2020)年度当初予算】

単位：億円 ()内は構成比



【図表○ 一般会計当初予算の推移】



【図表〇 保健福祉関係予算の推移】

(単位：百万円)

